

令和3年度 農地中間管理事業活動方針

平成26年3月に知事から公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団が農地中間管理機構の指定を受け、農業経営の規模の拡大、耕作の事業に供される農用地の集団化、農業への新たに農業経営を営もうとする者の参入の促進等による農用地の利用の効率化及び高度化の促進を図り、もって農業の生産性の向上に資することを目的とする農地中間管理事業に取り組んできたところである。

令和3年度においては、これまでの実績や課題を踏まえ、国・県の各種施策とも連動して、県、市町村、農業委員会、農業団体等との緊密な連携のもと、担い手確保支援事業との相乗効果にも配慮しつつ、農地集積・集約の一層の加速化に取り組むものとする。

1 岡山県の基本方針

岡山県農地中間管理事業の推進に関する基本方針（H26.3 岡山県策定）

- ① 担い手への農地集積率18.3%（24年度）→43%（R5年度） ※（R元年度）25.2%
- ② 分散錯圃の解消と集約化（面的集積）

2 令和3年度目標面積 1,910ha

3 農地の借受・貸付希望の状況

| 借受希望（受け手）（R3.3 末） | | | | | 貸付希望（出し手）（R3.3 末） | | |
|-------------------|-------|-------|-----|---------|-------------------|--------|---------|
| 市町村 | 経営体 | | | 希望面積 | 市町村 | 希望者 | 希望面積 |
| | 個人 | 法人 | | | | | |
| 27 | 1,781 | 1,494 | 287 | 6,891ha | 27 | 8,840人 | 3,418ha |

○農地借受希望の募集 通年募集・毎月公表

○農地貸付希望の受付 年間継続

4 農地の貸付（利用権設定）の状況（令和3年3月末見込み）

| 年度 | 目標面積 | 市町村数 | 貸付先（経営体数） | | | 貸付面積 | | | |
|-------|----------|-------|-----------|-------|-----|------------------|------------------|----------------|----------------|
| | | | 個人 | 法人 | 個人 | 法人 | | | |
| | | | | | | 個別 | 集落 | | |
| H26 | 1,910ha | 13市町 | 74 | 46 | 28 | 88.5ha | 27.5ha | 16.8ha | 44.2ha |
| H27 | 1,910ha | 23市町村 | 256 | 180 | 76 | 505.8ha | 155.5ha | 72.2ha | 278.1ha |
| H28 | 1,910ha | 20市町 | 245 | 180 | 65 | 345.6ha | 153.5ha | 49.8ha | 142.3ha |
| H29 | 1,910ha | 22市町 | 307 | 228 | 79 | 500.2ha | 180.2ha | 130.3ha | 189.7ha |
| H30 | 1,910ha | 24市町 | 323 | 238 | 85 | 504.4ha | 195.5ha | 161.2ha | 147.7ha |
| R1 | 1,910ha | 27市町村 | 373 | 273 | 100 | 440.8ha | 219.5ha | 144.7ha | 76.6ha |
| R2 | 1,910ha | 27市町村 | 544 | 421 | 123 | 744.4ha | 353.6ha | 320.7ha | 70.1ha |
| 累計 | 13,370ha | 27市町村 | 2,122 | 1,566 | 556 | 3,129.7ha | 1,285.3ha | 895.7ha | 948.7ha |
| 残高ベース | | 27市町村 | 1,161 | 961 | 200 | 2,692.8ha | 1,032.2ha | 762.1ha | 898.5ha |

5 令和3年度の取組方針

(1) 県・農業会議・市町村・農業委員会・JA・土地改良区等関係機関との連携による取組強化

- ① R1.11の農地中間管理事業推進大会で決定した関係5団体の基本方針に基づき、農地集積・集約化の中核的組織としての活動展開
- ② 農地集積・集約化を推進する市町村農地集積推進チーム（市町村、農業委員会、機構、JA、県等で構成）への参画
- ③ 人・農地プランの実質化等の話し合いを通じた集積・集約化
- ④ 農業委員会の最適化活動、とりわけ「一人一筆運動」と連動した取組の推進
- ⑤ 重点実施区域内等で潜在的に出し手の多い地域等で、市町村が選定した「モデル地区」での関係機関と連携した取組を推進
- ⑥ 集落営農の法人化による借受の推進、法人化している集落営農の活用促進

(2) あらゆる機会、手法を活用した周知と理解の促進

- ① PR資材の配布やテレビ・新聞・広報誌等の広報媒体等を活用したPR
- ② 集落座談会等各種会合への出席、農家訪問などを通じた丁寧な説明

(3) 担い手農業者への働きかけ

- ① 積極的訪問による機構活用の促進
- ② 再配分調整機能の活用に向け、利用権満了農地を機構経由へ誘導
- ③ 農地利用集積円滑化事業との統合一体化に伴う機構事業への切替え
- ④ 借受希望者のマッチングに向けた具体的ニーズ把握のための意向調査の実施
- ⑤ 担い手農業者組織等との意見交換の実施

(4) 農地整備事業との連携

- ① ほ場整備地区における農地集積・集約とセットでの機構活用の推進
- ② 畦畔除去や暗渠排水工事などの補助事業の活用によるマッチングの推進

(5) 産地振興や担い手対策との連動による推進

- ① 県の「研修ほ場事業」等と連動した新規就農者のための農地の確保
- ② 中山間地域等での各種担い手対策や機構集積協力金、広域型農地集積推進事業の活用等による集積・集約化の推進
- ③ 担い手不在地域等への農業参入企業の誘致促進